出展料金・要領

申込締切 2018年2月28日

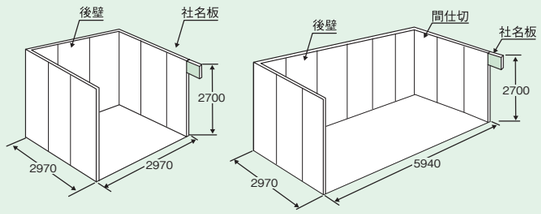
■ 展示出展料金

【企業】 **345,600**円(税込)
【自治体・公的研究機関・他団体】 **270,000**円(税込)
【大学・高専】 **108,000**円(税込)

1小間　約9㎡(間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m)

早期割引 2017年11月末締切　1小間 **324,000**円(税込)

横列小間

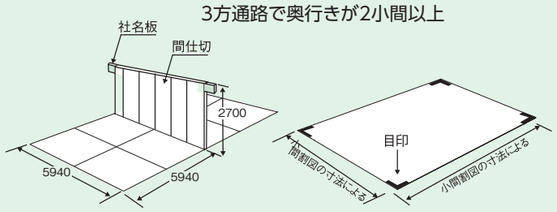


[例：1小間の場合]
(W2970mm×D2970mm×H2700mm)

[例：2小間の場合]
(W5940mm×D2970mm×H2700mm)

複列小間、島小間

3方通路で奥行きが2小間以上



[例：4小間の場合]
(W5940mm×D5940mm×H2700mm)

パッケージディスプレイ

展示と装飾を簡略化し、出展経費節減をサポートします。

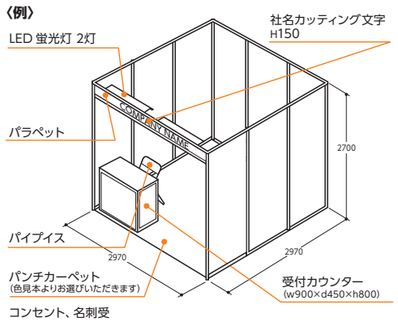
[基本設備]

- パンチカーペット(色選択)　一式
- パラペット
  (白、システムパネル仕様)　一式
- 社名カッティング文字　一カ所
- 電気幹線工事費・電気使用料(1kW)
- 受付カウンター×1台
- パイプイス　1脚
- LED蛍光灯　2灯
- コンセント　1個
- 名刺受　1個

1小間仕様　出展料 + **79,056**円(税込)

※2小間以上についてもご用意できます。
電気を1kW以上を使用の場合は、別途電気幹線工事費と電気使用料がかかります。
その他プランなど詳細とお申し込みは出展者説明会(2018年 3月)にてご案内いたします。

〈例〉



出展者セミナー

■ オープンスペース
1セッション30分／定員150名
会場：東展示場内　特設会場

54,000円(税込)

Biomass Expo
Biomass Energy & Materials

お申込み、お問い合わせ
バイオマスエキスポ事務局　担当：家原、草間、金嶋
〒104-0033東京都中央区新川2-6-16　馬事畜産会館401(一般社団法人日本有機資源協会内)
TEL:03-3297-5618　FAX:03-3297-5619
Mobile : 070-6983-9392　Email : nobuo.iehara@biomassexpo.jp

Biomass Expo
Biomass Energy & Materials

バイオマスエキスポ 2018

The Biomass Energy-Materials Conference & Expo2018

出展のご案内

広く分布するバイオマス資源を有効活用し、バイオマスエネルギー(発電、熱利用、燃料)への変換技術と、堆肥化、飼料化などのマテリアル変換技術などのイノベーションをマーケティングに活用する産業交流展示会です。地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とし、経済性を確保し、環境にやさしく災害に強いまちづくりを実現するとともに、地域バイオマス利活用で創出する新産業と地域循環型エネルギーの強化を探ります。
同時に、官公庁・自治体、産業界、国内外の技術者や研究者を一堂に会して種々の交流の場を設けることで、技術イノベーションによるバイオマスビジネス創出とビジネスチャンスを図っています。

2018年5月30日(水)▶6月1日(金)

会場　東京ビッグサイト

主催　バイオマスエキスポ実行委員会　共催　日刊工業新聞社、(一社)日本有機資源協会

同時開催　「防災産業展 in 東京」「スマートファクトリーJapan」　主催　日刊工業新聞社

Biomass Expo
Biomass Energy & Materials

バイオマスエキスポ2018　開催概要

会　期　2018年5月 30日(水)～ 6月1日(金)東京ビッグサイト
主　催　バイオマスエキスポ実行委員会
委員長　坂 志朗　京都大学大学院 エネルギー科学研究科 名誉教授
副委員長　坂西 欣也　(国研)産業技術総合研究所　福島研究所所長代理
共　催　日刊工業新聞社、(一社)日本有機資源協会
後　援（申請予定）　内閣府、復興庁、経済産業省、総務省、文部科学省、国土交通省、環境省　(国研)科学技術振興機構、(国研)国際農林水産業研究センター、(国研)産業技術総合研究所、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構、(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構
(一社)地域環境資源センター、(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会、(一社)バイオマス発電事業者協会、(一財)新エネルギー財団、(一社)日本エネルギー学会、他

Step1 資源の再配分

バイオマス資源
森林資源
PKS、ペレット
建築廃材
農業・家畜
家庭廃棄物
非食用作物

Step2 エネルギー&マテリアル変換

自律分散型バイオマスエネルギー
小型バイオマス熱電併給CHP
バイオマスボイラー
バイオマスガス発電・熱供給

バイオマス燃料製造
木質チップ、木くず、ペレット
バイオディーゼル、バイオエタノール

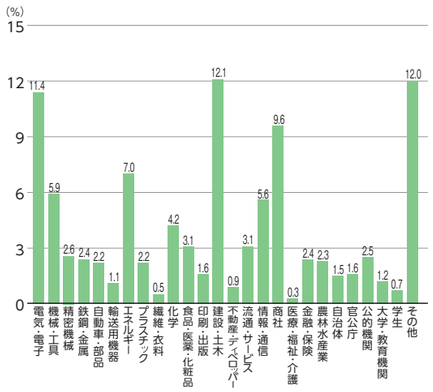
Step3 経済と安心安全を還元

バイオマス利活用による
安心・安全を確保
持続可能
災害に強いまちづくり
ビジネス事業継続
地域経済活性化
雇用の創出

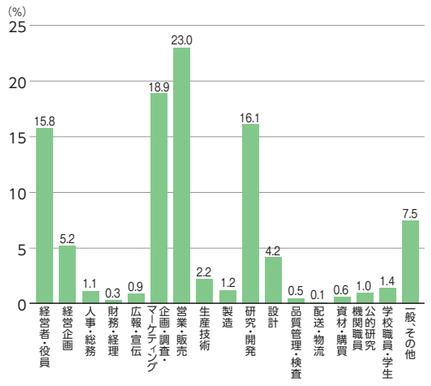
【来場対象】
発電事業者、バイオマス燃料供給者、新エネルギー活用担当、新規電力事業担当、地域活性化担当、企業の経営者、環境管理部門、製品・商品開発部門、技術部門、研究開発部門、社会貢献部門、購買部門など
官公庁・自治体の地域振興部門、環境部門、購買部門、研究部門など
業界団体、商工団体、環境団体・グループ、大学・研究所など海外(中国、韓国、東アジア各国)、駐日大使館の貿易振興部門など

【来場者見込】
42,000人(2017年実績 40,072人、同時開催展含む)
【出展規模】
バイオマスエキスポ100社・団体／150小間(2017年実績74社・団体 131小間、同時開催展含む合計229社 616小間)

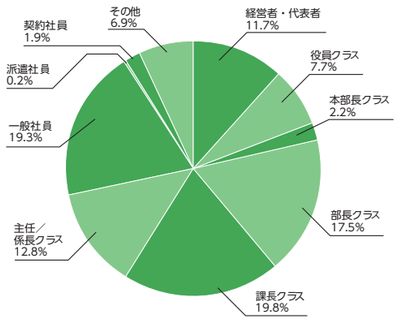
Q1. あなたの業種は？



Q2. あなたの職種は？

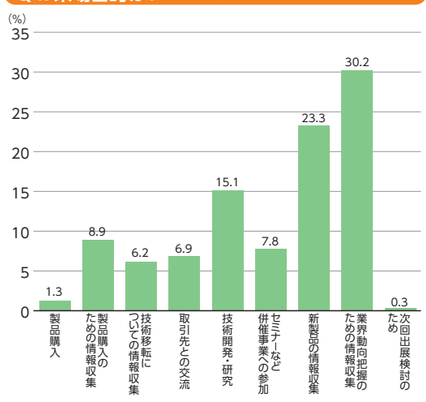


Q3. あなたの役職は？



2017来場者調査より

Q4. 来場目的は？ ※複数回答可



バイオマスエキスポ 出展対象詳細

バイオマスエネルギー関連

バイオマス発電 バイオマス熱利用
小型木質バイオマス熱電併給装置・プラント(CHP)　バイオマス発電プラント設計・製造技術
ガス化技術、熱分解・直接液化技術
加水分解・発酵技術、メタン発酵・水素発酵技術、乾燥・炭化技術、下水汚泥処理技術
収集・運搬技術、乾燥技術、破砕・粉砕機、計測・分析技術や機器
木質チップボイラー、木質ペレットボイラー、木質ペレットストーブ

バイオマス燃料
木質固形燃料製造関連(破砕機・粉砕機、乾燥機、木質ペレット製造、添加剤)、PKS、ペレット、他
バイオエタノール製造関連(プラント、ガス化技術、酵素・発酵技術、蒸留、分析・計測・解析関連、破砕・粉砕機、バイオ燃料原材料プランテーション)
バイオディーゼル製造関連、BDF製造関連、ジェット燃料清掃関連(プラント、バイオディーゼル製造装置、グリセリン再利用技術、破砕　機・粉砕機、分析・計測・解析関連、触媒、添加剤、フィルター、排水処理、ジャトロファ・パーム等の農業プランテーション)他

マテリアル利用関連

マテリアル利用
飼料化、コンポスト(堆肥)化、熱分解、発酵技術、微生物処理技術、乾燥、炭化、下水汚泥処理技術、収集・運搬技術、プラント設計・製造技術・装置、乾燥機、計測・分析技術や機器

バイオマス製品利用
バイオマスプラチック、生分解性プラスチック、微生物処理技術、エネルギー回収技術、生分解性素材、計測・分析技術、基礎化学原料・素材、バイオ化学品、バイオ樹脂、電気・電子素材、土木・農林資材、各種繊維製品等

その他

バイオマス産業都市(コンサルティング、自治体　等)
官学関連(大学、研究機関、団体)海外貿易投資関連(EU、中国、インド、インドネシア、東南アジア、中東、オセアニア等)、排出権取引、CDMコンサルティング、バイオマス産業のためのITソリューション、監視システム、ドローン利用システム

バイオマスエキスポフォーラム2018

バイオマストレンドセミナー

バイオマスエキスポフォーラムは、2007年の開催以来、各省庁のバイオマス政策やバイオマス資源からのエネルギー、マテリアルの最新変換技術、2012年のFIT以降はバイオマス発電事業など、バイオマス産業をとりまく環境変化のトレンドを、国内外の有識者や事業者にご講演いただいています。バイオマス産業のトレンドをマーケティングとイノベーションの両面から探ります。

安全・安心な住生活・社会インフラ環境を創る
2018 防災産業展 in 東京
—生産管理・製造現場の先進化・効率化を実現する—
スマートファクトリー Japan 2018

来場者プロモーション　広報・宣伝

同時開催:主催
日刊工業新聞社

日刊工業新聞での紙面報道と連動した継続的な来場プロモーションにより、ユーザーとなる関係者を動員します。日刊工業新聞紙上にて出展者の技術紹介を行うほか、防災製品・技術に関する最新動向、スマートファクトリーに関する最新動向を取材して情報発信します。紙面と連動してイベントを展開することにより、全産業の購読者に対してPR を行ってまいります。また、バイオマス産業関連のデータベースを駆使してPRします。